

図書館だより

LIBRARY INFORMATION
ゆっくり本を楽しむ

今月のおススメ

につぼんスズメ散歩
ポンプラボ 編

鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。
川上和人 著

5月 図書館カレンダー

2024年		May						
日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11	◎	
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31			

4月は旧暦で「卯月」といいますが、他にも「卯の花月」「鳥待月」「麦秋」「清和」など、たくさん異称があります。中でも「鳥待月」の「鳥」は、春に日本に渡ってくる代表的な鳥「時鳥」を指しています。昔の人々は、時鳥の初音を心待ちにしていたのでしょう。今月は「鳥」関連の本をご紹介します。

につぼんスズメ散歩

「舌切り雀」「雀の学校」など数多くの民話や童謡に登場し、昔から私たちになじみ深い鳥であるスズメ。そんなスズメを5人の野鳥写真家が各地で撮影し、魅力満載の集合本にまとめています。スズメのかわいい仕草や何かをじっと見ている愛くるしい目など、見ているだけで癒されます。



カンゼン

最後に、近年スズメの数が減少していることにふれています。読めばきっと、スズメを大切に見守っていきたいと感じるでしょう。

鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。

「鳥類学者」というタイトルから、地道に静かに学術的探究にいそしんでいる…というイメージを浮かべてしまうかもしれません。しかし、この本の著者は違います。

鳥のためには、とんでもない秘境に赴き、大冒険の現地調査の数々をこなし、それを笑いのツボ満載の文章で情熱的かつ大真面目に報告しています。鳥が好きでない人も充分に楽しめる、面白くてためになる本です。



新潮社

■休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、図書整理日

◎お話し会：5月11日 午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

図書館千代田分館の休館について

図書館千代田分館（千代田公民館内）は3月31日をもって休館し、5月に開館予定の「千代田コミュニティセンター（旧志筑小学校）」に移転します。

コミュニティセンターが開館するまでは、図書館本館（あじさい館内）をご利用ください。



詳細はこちら

千代田俳句同好会	初燕飛び込む先の寓居かな	つばめつばめ湖の風来る木のベンチ	啓蟄やあらたな土の土竜塚	せせらぎや苦みのきいた春の草	鬼怒川の光る岩肌水の春	荒れ畑をゆつたり歩む雉の雄	紫陽花俳句会	春一番スカートの子等にぎやかに	桃の花甘酒友に笑みてをり	青き踏む隣に桃花ふつくらと	一途なる生業の郷山桜	出島短歌会	ボランテアの尺八へのせ合唱の「岸壁の母」に涙あふるる	年金は引かれるばかり物価高ふえてくるのは孫の小使	ガザ地区に難民増える今日もまたさらに蝕むコロナウイルス	頼もしきわが里担う五人衆テレビに映る農する人ら	投稿作品	ひよ鳥が金柑一個くわえてた食べられないと言って飛びゆく	「無理するな休め休め」と我が夫ひねもす休みは無理せぬ夫	花桃の咲きたる庭の片隅に小鳥さいずる晴れたる午後	ラジオから童謡流れじんとして追想しては子へ思い募る	背伸びせず鈴をならせる孫娘見送る我は小さくなりて	春雪に花芽ついでむ鳥一羽季節の狭間を耐える一刻	ときを待つ巡る生命や草木の想い潤す春雨の降る	ぬくぬくと日射したつぷり枇杷の花	春嵐過ぎれば桜開花にほっこりと	氏名欄はみだす文字の入学児	赤々と己が身焼けり桃の花	リハ散歩桜並木を遠回り		
今井守	大西周	加藤貞江	北原千恵子	神原清志	桜井愛子	久保庭悦子	島田和子	原田佳世子	田能幸雄	今井守	大西周	加藤貞江	北原千恵子	神原清志	桜井愛子	久保庭悦子	島田和子	原田佳世子	田能幸雄	矢口哲雄	岡田よう子	石塚清	齋藤翔子	関和代	沽野はつ子	中島良平	釈一浄	高野新一	竹村啓子	兼西清治	中村耕二

文芸ひろば

投稿作品

WEBで投稿
できます



投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。5月8日☎までに秘書広報課（〒315-8512 上土田461）へお願いします。 ※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。

市内の地名伝説

歴史にふれる

今月は、「市民学芸員の会」の会長を務めている深井征一郎さんが、市内の地名について話してくれました。

歩崎観音と「歩崎」の由来

歩崎観音に関する書物「略縁起」には、次のような伝説が記載されています。

『ある時、霞ヶ浦の三又沖で商船が悪風に遭い、転覆してしまいました。絶体絶命の危機を迎えた船主は、「南無観世音菩薩」と唱えました。すると、陸のほうから、たいまつを持った観音様が水上を歩いてきて、船を陸に運んでくれました。往來の船に難事がないのは、ひとえに観音菩薩のご加護のおかげなのです』

この伝説によると、観音様が水面を歩いて助けに来てくれたことから、この土地が「歩崎」と呼ばれるようになったとのことです。

日本武尊伝承と「稲吉」の由来

古墳時代の初め頃、日本武尊（日本古代史上の伝説的英雄）が東国を巡りました。房総半島より常陸国へ進み、当時広大な内海であった霞ヶ浦から、入り江となっていた荒張川（現在の天の川）へと船を入れ、現在の下稲吉香取神社のあたりに上陸しました。従者は、周辺から稲わらを集め、長い舟旅で疲れた日本武尊が休むための寝床を作りました。身を横たえた日本武尊は、「これはよい稲だ。寝心地がよい」と言ったそうです。このことから「稲吉」という地名が誕生しました。

▲ 歩崎観音の本堂

▲ 下稲吉香取神社の拝殿

この他にも、穴倉・牛渡・志筑・清水・雪入などの地名にも面白い由来や言い伝えがあります。図書館で「出島村史」や「千代田村の民俗」を読んで、お住まいの地域の地名を調べてみると、歴史や文化が身近に感じられるでしょう。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

スポーツで『地域』を元気に

総合型地域スポーツクラブスタッフのコラム / KSC なかよしクラブ 松庫義弘さん寄稿

☎ スポーツ振興課 ☎ 029-898-9907

千代田義務教育学校 ～運動部活動を紹介～

運動部活動は、学校教育活動の一環として行われており、スポーツに興味と関心をもつ生徒によって自主的に組織されています。より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、スポーツの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験する活動です。

今回は、2年前に開校した千代田義務教育学校の運動部活動をご紹介します。競技は、①ソフトテニス②ハンドボール③バスケットボール④バレーボール⑤卓球⑥剣道⑦ゴルフがあります。活動は、7年生から9年生を中心に、5年生と6年生が練習（平日のみ）に参加できる体制となっています。この体制により、上級生が下級生を教えるなど交流する機会が増え、社会性を身に付けることができます。

千代田義務教育学校は、昨年度、県内では珍しい「ゴルフ部」を新設し、3人の生徒が入部しました。少子化の影響で、野球部が休部するなど団体競技の活動が厳しくなる中、個人競技でもスポーツ振興を図る目的で創設し環境を整えています。また、今後の部活動のあり方について、部活動顧問の先生に聞いたところ「指導者や顧問は、現状では先生方が担当しています。これからは、部活に籍を置きながら外部のクラブにも所属し、練習を重ねていくような選択肢も部員たちに提供していきたい」と話していました。部活動の地域移行を進めながら、子どもたちが楽しくスポーツできるように応援していきましょう。

「総合型地域スポーツクラブ」に参加しませんか？

スポーツ広場、硬式テニス、太極拳、ピンポン、フットサル、よさこいソーラン、軽音楽、社交ダンス、ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、英会話広場、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ吹矢

KSC なかよしクラブ ☎ 090-2417-8502 (大和)

KSC エンジョイスポーツ ☎ 090-2420-7846 (高田)

▲詳細